# 日本ボストン会 会報

第50号





ハイキングと紅葉狩りの会 (アプトの道 - めがね橋)

## 2人のNobuyuki Kondo ~30年を超える日米の縁~ 近藤 宣之

時代は1980年代、日本ではバブル経済に沸き、米国の資産を日系企業が買いあさっていたころです。ボストンでの地元TV局が、"Buying Bay State (Massachusetts州)"と題した特集を組んでいて、日本電子の米国法人総支配人であった私もそのTV局の取材を受け放映されたこともあります。

その年、全米最古の日米協会である、Japan Society of Boston (JSB)が毎年1回開催するチャリティゴルフ大会に申し込みをしたところ、Nobuyuki Kondoという参加者が二人いるということで受付で混乱がありました。そこで出会ったのが、近藤信之さんです。私の名前の近藤宣之と英文表記では同姓同名です。それまで会ったこともなく全くの初めての対面でした。

信之さんは札幌出身で、明治大学を出た後、Thunderbird School of Global Management at Arizona State UniversityでMBAを取り、Indiana出身のYvetteさんと結婚、投資業に従事していました。このゴルフ大会を機に親しくしていただき家族ぐるみの交流が始まりました。日本レーザーの社長になってから訪問した時には、息子さんたちは小学生、お嬢さんは生まれたばかりでした。

信之さんに日本人会や、ニューイングランド日系企業懇話会を紹介して会員になってもらいましたが、今では最古参の会員の一人です。日本に出張するたびに、日本レーザーにも訪ねて来てくれ、年に1~2回は東京で会食しています。そんなあるとき、大学生になった長男の亮介君を3か月ほどインターンシップで受け入れてくれないかと打診され、私も社員の英語力向上に役立つからと思って初めて海外学生のインターン制度を始めました。

日本ボストン会会報 Vol. 50

夏休みの3か月間、当社の西早稲田の本社と大阪支店、名古屋 支店でのインターンシップでは社員との交流で、社員の英会話力 が向上する一方、父親の母国語である日本語もだいぶ上達しまし た。技術に関心があったせいもあり、展示会や顧客訪問にも同行 して日本の企業活動の一端にも触れることが出来たと思います。 その後は米国のメーカーiROBOTでもインターンを経験したそう です。今は最先端技術の米国企業で働いています。

亮介君の経験に刺激を受けた次男の高徳君もその後同様のインターンシップを当社で経験しました。兄とは違って心理学など文系の学生で、英語を熱心に教えてくれました。この二人のインターンシップを受け入れたことがきっかけでこれまで合計8人の海外学生を1~3か月受け入れています。米国から4人、ドイツから2人、台湾から2人。また男子学生が5人、女子学生が3人です。

当社は、世界14か国、約100社との取り行きがあるレーザーや光学製品の専門輸入商社ですが、社員の英語力や国際感覚を高めるために、社員にもいろいろな制度を提供しています。

そうした取り組みの中で、海外学生のインターンシップが大変有効であると認識しました。当社ではコミュニケーションの道具としての英語力を重視しており、TOEIC500点以上を社員の条件にしていますが、年間30万円の手当がつく900点以上が今では2割、24万円が支給される800点以上も合わせると全社員の4割にのぼります。中小企業としてはあまり例のないレベルが実現されていますが、きっかけは、30年前の同姓同名でのゴルフ大会参加でした。

第一回のインターンであった亮介君があるときガールフレンド を連れて来社し、社員と旧交を温めたことがあります。写真はそ の時のものです。

ところで、近藤信之さんとの交流が始まった30年前のJSBのゴルフ大会では私が優勝し、日本往復の航空券をいただきました。30年を超える日米の縁を思うと感慨深いものがあります。



### NEXT EVENTS 奮ってご参加ください

#### お花見の会

屋形船 (浜田屋) 乗船による 隅田川の花見&懇親会

日時:4月4日(水)

午後12時~2時

北千住東口

集合: 午11時30分

詳細:HP

申込・問合せ: <u>■</u> (申込締切済)

#### ゴルフの会

日時: 4月19日(木)

午前9時インスタート

集合: 8時40分 10番テイー 場所: 川崎国際生田緑地

ゴルフ場

会費: 4,000円(賞品代及び

パーテイー代)

詳細: HP

申込・問合せ: 📧

#### 美術と歴史の会

京都:修学院離宮・二条城・

桂離宮を巡る旅

日時:5月

申込・問合せ: 🔤

(申込締切済)

## 寄稿:伝統芸能と私 茂木 七左衞門

この3月末で、8年9ヶ月務めてきた日本芸術文化振興会理事長の任期が満了になる。

平成21年の2月頃だったろうか。突然文化庁からコンタクトトがありこの仕事への就任の要請を受けた時には、心底びっくりした。知識不十分だし経験は皆無で自信がないから遠慮したいと当初は断った仕事だが、いま振り返るとこういう素晴らしい機会を持たせていただいたことに感謝の気持ちで一杯だ。それまで経験したことのなかったことが山ほど経験でき、会うチャンスのなかった多くの素晴らしい方々とお近づきになれた。我が人生がとても豊かなものになったという実感があり、こんな幸せなことはない。

文化と一口に言っても、芸術文化、スポーツ文化、生活文化等々実に多様であるが、いずれの文化も一つの国にとって、そして国民にとって、誇りやアイデンティティーの根源だと思う。日本芸術文化振興会は広く舞台芸術一般を守備範囲とするのだが、中でも日本の伝統芸能は、美しく奥の深いものだと感じている。それに関与させていただいた9年弱の歳月は、おそらく私がこの世を去る瞬間に振り返ってしみじみとした満足感を抱けることになるだろう。

実はいくつかの危機もあったのだが、今ではそれさえも楽しい思い出である。毎年新しい年を迎える1月3日の初春歌舞伎初日の開演前に行われる鏡開きも、楽しく愉快なものだ。1年目は普通にスーツで出れば良いと聞いてそうしたのだが、周りの紋付き、羽織、袴に威儀を正した役者さん達の間ではどうも場にそぐわない。そこで大枚(というほどの高級品ではないが)を投じて個人で和服正装一式を整え、2年目からはそれを着用してやってきた。

大劇場の広いロビーを埋め尽くすお客様からは、役者さん達に大きなかけ声が掛かる。ところが、私が紹介される段になると、多少の拍手はあるものの場内はシーンとなって熱気が一気に冷めてしまう。そこで大向こうの方々に頼んで、国立劇場の所在地である「隼町!」なるかけ声を

掛けてもらうことにした。私のちょっとしたいたずら心だが、場内の雰囲気が持続されるようになったことは間違いない。ご存じとは思うが、「紀尾井町」は尾上松緑丈への、「神谷町」は中村芝翫丈への、居宅の場所に因んだ掛け声である。もっともお客様の中に「あの見たこともない、売れてない役者は誰?」といった人がいたそうな。

ボストン会で観劇会のおすすめをしたところ、早速に伝統芸能の会を組織していただき、 毎年大勢の方々にお出でをいただいたことを 心から感謝申し上げたい。これからは私も会



員の一人として、皆様とご一緒に観劇会に参加したいと考えている。

(写真は本年の鏡開き~私を挟んで右から中村時蔵丈、尾上菊五郎丈、尾上松緑丈、 尾上菊之助丈)

日本ボストン会会報 Vol. 50

## WG活動(2017年秋~2018年春)

2017年(平成7年)

9月27日

10月21日

10月29日~30日

11月27日 11月30日

2018年 (平成8年)

1月7日 3月17日 美術と歴史の会(国立西洋美術館建築ツアー)音楽の会(第12回ホームコンサート)

ハイキングと紅葉狩りの会(霧積温泉紅葉狩りと

紅葉のアプトの道ハイキング)

25周年記念総会

ゴルフの会(秋季コンペ-川崎国際生田緑地GC)

ハイキングと紅葉狩りの会(谷中七福神めぐり)

伝統芸能の会(歌舞伎鑑賞)

## ワーキンググループ活動報告

## 伝統芸能の会報告 吉野静子・滝沢典之

2018年3月17日(土)毎年恒例になりました伝統芸能の会の歌舞伎観劇会を国立劇場にて開催いたしました。33名の皆様にご参加いただきました。初参加の皆様が10名以上と多くありました。

当日は10時30分に国立劇場の会議室に集合、藤盛会長の開会の お言葉、続きまして、本会発足当時から大変お世話になりました独



立行政法人日本芸術文化振興協会の 茂木理事長(日本ボストン会元会長) のご挨拶、演目紹介から始まり、昼 食歓談後、歌舞伎の観劇会を催しま した。今回の演目は「増補忠臣蔵 本蔵下屋敷」(中村鴈治郎主演)と 「梅雨小袖昔八丈-髪結新三」(尾 上菊之助主演)でした。今回は客席 中央の非常に良い席での観劇で、ご 参加された皆様は大満足のご様子で した。最後に、いつものように希望 者による舞台裏見学を行い夕刻には 解散いたしました。

茂木理事長におかれましては、本年3月ご退任されますが、次回 以降も会員の皆様とともに本会の活動にご参加される予定です。

次回も一人でも多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。





## ゴルフの会

#### 山 崎恒

ボストン会秋季ゴルフ懇親会は、11月30日に川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催する予定でしたが、参加者が少なく開催することができませんでした。春季ゴルフ懇親会は同じ川崎国際生田緑地ゴルフ場で4月19日に開催予定です。奮ってご参加ください。

#### 美術と歴史の会

### 世界遺産・国立西洋美術館建築ツアーと 東京都美術館のボストン美術館至宝展鑑賞 三好 彰

9月27日に参加者15名が国立西洋美術館本館の地獄の門の前で待ち合わせた。

最初に同美術館でギャラリー・トークのボランティアをしている三好美智子が、世界遺産に登録された同館の建築ツアーを先導した。本館はル・コルビュジエ(フランス人)の設計思想を具現化した芸術作品である。コレクションが増えるにしたがって建物の外側に展示室を追加していく

ことができる無限成長美術館となっている。柱で建物を支えるピロティ、玉石が埋め込まれた外壁、横長の窓などの特徴が右の写真で確認できる。

次に、近在の東京都美術館で特別展「ボストン美術館至宝展」を目ざしたら入場待ちの大行列が出来ていた。予約しておいた食事会場に間に合わないので見学を取りやめる人が次々と出た。

食事会場は二度目になるが韻松亭であった。個室 で歓談を楽しんで解散。



午後の東京都美術館は空いていたので順路設定がまずかった。「ボストン美術館至宝展」では、 英一蝶の「涅槃図」、ヴァン・ゴッホの「郵便配達人ジョセフ・ルーラン」と「子守唄、ゆりか ごを揺らすオーギュスティーヌ・ルーラン夫人」は近年大がかりな修復がなされていて海外での 初のお披露目であった。反省を今後に活かしたい。

## 音楽の会- 第12回ホームコンサート 関 直彦・尚子

今年2回目となったホームコンサートを、関幹事宅で昨年10月21日に開催。演奏者としてお招きしたのは、ボストンを拠点に欧米で演奏活動を続けている、当会のボストン在住会員でもある

ピアニストの建部佳世さん。佳世さんはかつて、日本ボストン会が発足して間もなく、当会のレディス会主催の演奏会でピアノ演奏を披露していただいているので、今回で2度目の出場となりました。

台風前の悪天候にも関わらず出席いただいた32名の聴衆は、モーツァルト、ベートーヴェン、ショパンなど、佳世さんのエネルギッシュな演奏に大いに魅了されました。更に客演として、佳世さんの弟さんで、NHK交響楽団のコン



日本ボストン会会報 Vol. 50

トラバス奏者を永年務められた建部欣司さんに、エックレスのコントラバス・ソナタを演奏していただき、一同、なかなか近くで接することの稀なコントラバスによる演奏を堪能しました。演奏会を成功裏に終わらせたお二人に感謝します。

演奏後は恒例により、ビュッフェスタイルの懇親会で歓談いただきました。

### ハイキングと紅葉狩りの会 霧積温泉紅葉狩りと紅葉のアプトの道ハイキング 中埜岩男

10月29日(日)は台風22号の影響で雨。11時過ぎに横川駅に17名集合。山崎さんは次の電車で到着。迎えのマイクロバスで金湯館に直行した。しっかり者の女将が出迎え。昼食は宿の山菜そばが絶品とかで注文する人が多かった。

食後、部屋割りをした。夕食までの思い掛けない団欒のひと時を得て親睦を深めた。散歩を楽 しむ人もいた。温泉は温めだが肌に優しい湯質だった。

6時から食事。ビールでまず乾杯。あとは熱燗。山菜の 天ぷら、こんにゃくの刺身。岩魚の塩焼き、豚汁ほか 盛り沢山な料理に舌鼓を打ちながら会話が弾んだ。8時 前にお開き。

翌30日(月)は、朝の通り雨は一過性で昼に向かって晴れた。朝日に照らされた雨上がりの金湯館周辺の紅葉は感動的だった。木枯らし1号も吹いた。

7時半から朝食。きのこの味噌汁が特に美味かった。 8時30分過ぎに大型マイクロバスで金湯館を出発した。



金湯館の運転手さんに熊ノ平駐車場まで送って頂いた。駐車場からの急な上り階段を上り切った ところが熊ノ平駅の跡。ここで集合写真を撮った。トンネルが3つ見えた。小さいのがアプトの 道。

景色を楽しみながら、雑談しながらゆっくりと歩いた。トンネル内はひんやり。トンネルを出ると日差しが暖かかった。トンネルは全部で10個。めがね橋では全景の見える道路まで降りた。めがね橋全景とレンガ組みが印象的だった。アプトの道をさらに下った。碓氷湖への分岐点で、碓氷湖に出てトイレ休憩。ここで、碓氷湖一周組と横川駅直行組に分かれた。一周組は坂本ダム、ほほえみ橋、夢のせ橋と巡った。湖から眺めた紅葉は格別だった。次に、アプトの道に戻り、峠の湯を横目にさらに下り、旧丸山変電所で寄り道。碓氷峠にアプト式鉄道導入の経緯や富岡製糸工場と生糸の関係がよく分かった。横川駅には12時45分頃に着いた。ハイキング終了。電車組と車組に分かれて散会。

後日、小野田さんから思い出一杯の素敵なフォトブックが届きました。

コースタイム

9:46 熊ノ平駐車場→ 9:49 熊ノ平駅→ 9:54 同左→10:23 第5橋梁→10:33 めがね橋(第3橋梁) →11:02 碓氷湖分岐→11:37 碓氷湖→12:14 旧石山変電所→12:45 JR横川駅着 所要時間約3時間

日本ボストン会会報 Vol. 50 6

## ボストン会総会報告原稿 近藤 宣之

創立25周年記念年次総会は2017年11月27日(月)夜にNECの三田クラブで開催されました。 従来の総会の内容を変更して、以下のように25周年を振り返ることと、ボストンでの現在の日本 コミュニティの活動の紹介を行いました。

- 1. 藤盛会長の25年を振り返っての挨拶
- 2. 土居副会長から25周年の活動を画像で紹介 (PPT)
- 3. ボストン総領事からのメッセージ(文書代読)
- 4. ボストン日本祭りの紹介(細田満和子さん、八代江津子さんから紹介)
- 5. 日本でのてわっさ紹介等

(ボストン本部の東北震災支援団体)の活動報告(昭和女子大ボストン校の卒業生など)

2時間という限られた時間ですので通常 のグループ活動等の報告や方針は簡略化致 しました。添付の写真から当日の雰囲気が 感じられれば幸いです。

ボストンから帰国したばかりの新しい会員も多く参加して、25周年を期に日本ボストン会が活性化するきっかけになりました。 参加された会員の皆様に感謝致します。



## 谷中七福神めぐり 中埜岩男

2018年1月7日、9時半参加者16人で田端駅前を出発。切通の先が最初の東覚寺。赤札仁王に迎えられて、本殿の福禄寿に参拝。裏の立派な庭園も拝観、檀家さんの振舞い甘酒で身体が温まった。次に賊除け地蔵で有名な與楽寺に寄り道。立派な梵鐘を持つ閑静なお寺だった。二番目の青雲寺は、日暮しの里の花見寺として有名。参拝客の列に並んで本殿の恵比寿様に参拝。本殿脇に

は滝沢馬琴の筆塚があった。三番目は修性 院。布袋様と子供が遊ぶ壁絵が特徴。本殿 のゆったりとした布袋尊像は日暮しの布袋 様そのものだった。有名な谷中銀座を横目 に夕やけだんだんを上って先を急いだ。四 番目の長安寺では狭い境内が参拝客でごっ た返す中、寿老人に参拝。狩野芳崖の墓に も挨拶。五番目の天王寺は江戸時代は富く じで有名。ご開帳中の毘沙門天に参拝した。 谷中霊園内の慶喜公墓所にも立寄った。六 番目の護国院では、本殿の大黒様の真ん前 で参拝した。上野東照宮にも立ち寄った。



最後の不忍池弁天堂は参道の行列に並び、やっと弁天様に参拝できた。 2 時から食事会、先ず ビールで乾杯。黒船亭の須賀社長さんのご厚意による美味しいコース。

日本ボストン会会報 Vol. 50 7

## ボストンだより - 2 2018 Spring 八代 江津子

第2弾となりました「ボストンだより」第1弾は「暮らし・食べ物」でしたが今回は「生活」を 攻めてみようかと思います。

相変わらず、物価は日本の倍までは行かずとも近いものがあります。スーパーで買い物をするとすぐに100ドル越え、これにはお財布も大変。家賃もうなぎ上りです。家の売れ行きも凄まじく、売り手のオファーよりも高い金額で売られることが多く、今では購入者がエッセイを書き、それを売り手がエッセイを読んで選ぶというとんでもない方法が横行しているボストンです。

トランプ政権になってから景気がいいのには驚きますがきっとどこかに落とし穴が「ドン」と空いているのではないか、その闇が恐ろしい今日この頃です。

このボストン景気にはGE、そして武田薬品が大きく関わっています。GEの雇用が2000人、そして移動数が500人。500は雇用数なので家族を加えるとざっと1000人という大移動です。そこ

に日本企業の武田が500人の雇用と移動を引き連れてのボストンですので、日本語学校はパンク状態といういまだかつてない日本語学校の盛況ぶりで、20年前は200人だった生徒数が800人を超える補習校となり、教室、そして先生方の確保で大変です。

オリンピックの候補であったボストンが、オリンピック後のインフラの使用方法などを考慮して辞退したという大人なボストン、このことを踏まえてのことだったのでしょうか。市や州の動きが気になります。

新しい市長の就任式がこの1月1日に行われまし

たが、今後アマゾンの第2ヘッドクオーターが誘致されるか否かにボストン市長そして街が湧いています。このニュースレターが発行される頃に決まっているでしょうか。私の予想は、アリ。です。ますます人口が膨張しどうなっていくのか。

頭脳集団であるボストン、研究の中心であるボストン。ニューヨークやサンフランシスコに比べまだまだ家も安く、空間もありインフラを整える余裕のあるボストン、雇用も優秀な若い人材をいつでも雇用できる状況に「今はボストンでしょう!」と考えるのが順当。

頭脳の中心ボストンに漸く経済の光が当たってき たという感じでしょうか。



日本ボストン会事務局



〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6

会報の原稿を募集します。内容はボストンやニューイングランドに 関連のあるものとします。ご寄稿頂ける方は、掲載についてご相談

をさせた頂きたく、事務局までご連絡ください。 連絡先: 📧